

新・家族 募集中!



厚生労働大臣指定法人(福)日本聴導犬協会 TEL:0265-85-4615 FAX:0265-85-5088

E-mail: inf@hearingdog.or.jp <件名に「新・家族」と、必ずご明記ください>



先住犬のいないご家庭向き♡他のワンコがちょっぴり苦手。男の人最初は苦手。安心すると思いきり寛いじゃいます♡チャームポイントは美少女さんらしい整った顔立ち!



さくらこちゃん

女の子*MIX*2022年1月15日生まれの3歳*14kg



スタッフNさんのお気に入り犬♡苦手なことに慣れるのに時間がかかりますが克服できることも!甘えん坊で遊び好き!チャームポイントは眉間のしわしわ!

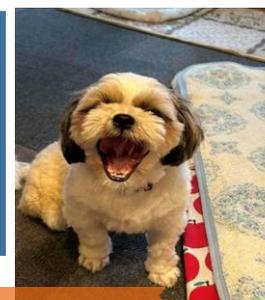


男の子*MIX*2021年11月15日生まれの4歳*10kg

かい君



子どもらしさを持ち続ける純粋ボーイ!遊ぶのも、人も大好き♡生まれつき足の関節が緩く、日常生活はOKですが、階段の上り下りはさせないご家庭に♡チャームポイントはくりくり大きなお目目と笑顔!



男の子*シー・ズー*2023年4月28日生まれの2歳*6kg

さき君



人見知りな繊細さん、苦手なことに慣れるまでなるちゃんのペースに合わせてくれるご家庭向き♡慣れるとお腹を出して「撫でて」アピールで思いきり甘えます♡チャームポイントは美少女なまる眉と胴長短足のキュートなフォルム!



なるちゃん

女の子*MIX*2022年12月1日生まれの3歳*8kg

HaHa, Happy



HP Facebook

新家族通信 Vol.3

発行人：有馬もと
編集：野崎幸菜、勝俣萌香
執筆：日本聴導犬協会 新家族会
© 日本聴導犬協会：
長野県上伊那郡宮田村 7030-1

新家族新聞は、聴導犬&介助犬のキャリアアチェンジ犬たちの「新しい家族」になられた皆さまの新聞です

大好きなミミちゃんが 残してくれたもの

みみ姫ちゃん新・家族 高橋 文子

大好きなミミちゃんと四季を感じる喜び



元聴導犬みみ姫が虹組になってから2か月後、やはり聴導犬引退犬のひめちゃんを預かりました。日本聴導犬協会からのご依頼もあり、ひめちゃんの新家族になりました。これも、みみ姫がくれた貴重な縁と、ひめちゃんとの生活で幸せをもらってます。

10種のワクチンを接種した直後に、アナフィラキシーを起こし、命は助かったものの、全盲となり聴導犬を引退したみみ姫がソーシャライザーをしているわが家へ来たのが7年前。数か月後に家族として迎えました。

来た当初は、目が見えなくとも土、草、風、におい等から季節を感じられるよう抱っこやお父さんお手製のリュックに入り散歩をしていました。もう1度自分で歩けるようになったらいいなという思いから、安全な所で笛や声、カスタネットなど音でガイドして練習し、自分で歩けるようになり、ミミとは様々な所へ行き、自然と四季を共に感じる喜びを知ることができました。

3年前、テレビ番組の企画で元ユーザーさんと再会する機会がもらえました。元ユーザーさんのところへ真っ直ぐ歩いていき甘えるミミを見た時、ミミにとっても嬉しい再会だったんだとわかりました。今も私の胸にはその時の光景が残っています。

それから1か月後、心臓を患っていたミミは家族が見守る中、虹の橋を渡りました。

3年間という短い時間でしたが、運命に抗うことなく芯の強さを持ち、生きること、命の尊さを私達家族に教えてくれました。

日本聴導犬協会では、常時、聴導犬&介助犬のキャリアアチェンジ犬の新しい家族「新家族」を募集しております
新家族会では、継続的なしつけ相談やイベントへのご招待など様々なサポートがあります

新家族通信のお話をいただき、見ることが出来なかった写真や動画を久しぶりに見て、捨て犬から保護され、日本聴導犬協会でご



出会ってくれてありがとう

し聴導犬として活躍した日々は、ミミにとって一番輝いていた時だと感じました。そして日本聴導犬協会の社会における存在は必要不可欠、私も今できることをしたいと思い「チームミミ」というボランティアグループを作り、活動させていただいています。ワンコ友達も多く、知らない人からも声をかけてもらい応援されていたミミが残してくれたモノは多く、感謝の気持ちでいっぱいです。

出会ってくれてありがとう。大好きだよミミちゃん。

こんなにいい子のつぐみが我が 家に来てくれたことに感謝です

つぐみ(旧姓つぐ)くん新・家族 安西 淳子

我が家に来てくれてありがとう!



つぐみが我が家に来て5年、もうすぐ12才になります。来た頃は本当に怖がり、家の中で初めて聞く音もビクビク、外へ出れば犬や猫に吠え、なかなか散歩ができませんでした。散歩は角毎に一步先に私が覗いて犬がいらないのを確かめてから進むようにしていました。

犬がいたら止まって「大丈夫!」と言って座らせ、吠えずに待てたらご褒美、の繰り返し。

少しずつ慣れて、今では、前から苦手な犬が来ると「ボク吠えないよ!」と私の顔を見て申告敬遠でご褒美を催促します。友達も沢山でき、

かわいいつぐみ、元気で長生きしてね



大きな犬とは取っ組み合いをして遊び、小さな犬には優しく鼻で挨拶ができるようになりました。近所でも、つぐみが来た頃から知ってる方には「いい子になったね」と褒めてもらえます。

家の中では、「ドア開けて！外へ行きたい！マットがないよ！」などと目で訴えたり、足にタッチしたりしてきます。「散歩に行くよ」と私が言うと、玄関へ行ってリードを鼻でブラブラさせて、「これですよ！」と伝えて来ます。

何しろかわいいつぐみ、健康で長生きして欲しいと思っています。聴導犬には向かなくてもこんないい子が我が家に来てくれたことに感謝です。

って改めて感じます。

聴導犬や介助犬もその壁を取っ払って、自然な形で人と人を近づけてくれる存在であり、それは障がいを持っておられる方にとっては、生きていく上で心強い味方になると思います。

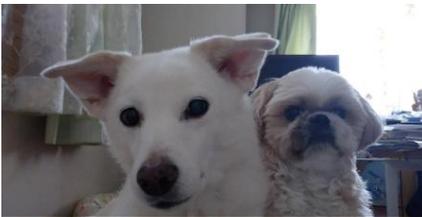
日本聴導犬協会は、そういう犬達を無償で育成・貸与してくれる上に、生涯に渡り寄り添ってくれる活動をしています。この活動をこの先も続けていけますよう、皆さまのご支援をお願いしたいです。



犬達といると、自然な会話が生まれます

人と人をつなぐ存在

日本聴導犬・介助犬訓練士学院 10 期生 & 元（福）日本聴導犬協会訓練スタッフ さくらこちゃん新・家族 山下茂美



お互いになくってはならない存在になりました

さくらこは日本聴導犬・介助犬訓練士学院の学生の当初からの私の相棒犬でした。ほとんど毎日一緒に過ごす

うちに、お互いになくってはならない存在となり、協会を退職する時に家族に迎え、今年で5年目になります。

協会での犬達の健康のための様々な取り組みに興味を持ったことで、退職後は、ホリスティックケア（体・心・魂全てを全体的に捉えたケア）を学ぶことになりました。その学びの中で知る犬達の懐の大きさ、愛情の深さ、常に今を心のままに楽しく生きている生き方に、さくらこからも多くを学び、支えてもらっています。

そして、犬達と一緒にだと知らない人ともいつの間にかコミュニケーションを取っていて、人と人を隔てているのは、無関心や警戒心などの心の壁だという事を、犬達と生活するようにな



家族はゆう君の可愛さにメロメロです

ゆう君との出会いは事務職として日本聴導犬協会に就職し少し経った頃、先住犬を亡くし家族が寂しい思いをしていた時でした。訓練スタッフの皆さんは帰宅時に協会犬を連れ帰り翌日一緒に出勤をしていました。ある日会長の有馬さんから「ゆう君を連れて帰って

いいよ」と言われ、喜んで一緒に帰宅しました。もちろん家族はゆう君の可愛さにメロメロ。しかしその頃ゆう君は協会の優秀（親バカでしょうか）なPR犬でしたからキャリアチェンジなど思ってもみなかったのですが、新家族の話があった時は即決で家族に迎え入れる事にしました。

そんなゆう君も9月で13歳になりました。今では孫たちのおまごとの相手をさせられたり、おもちゃの取りっこをしたりとおじいちゃん犬は微笑ましい

お出かけの行先はゆう君ファースト



日本聴導犬協会では、常時、聴導犬&介助犬のキャリアチェンジ犬の新しい家族「新家族」を募集しております
新家族会では、継続的なしつけ相談やイベントへのご招待など様々なサポートがあります

姿を見せてくれます。私たち老夫婦もゆう君と一緒にキャンプやドライブに行くことを楽しみにしています。どんな所に行けば喜んでくれるか、ゆう君ファーストで行先を決めています。今は健康で一日でも長く楽しい時間を過ごしたいと思います。目指せ 20 歳です。そしてこの幸せな時間をくれた有馬会長はじめ日本聴導犬協会のスタッフの皆さんに感謝申し上げます。これからも微力ながら日本聴導犬協会の活動を応援したいと思います。

転倒で要介護 4 の父。 リハビリ促進はのぞみの散歩！

のぞみちゃん新・家族 蟹江 洋子

のぞみちゃんをわが家へ迎え入れたのは、知人が聴導犬のぜん君と暮らすようになり、その世界に触れたことが始まりです。聴導犬との暮らしを教えていただく中で、日本聴導犬協会、キャリアチェンジ犬の存在を知りました。先代の犬との別れという経験から、余りにも辛くもう犬と暮らすことはできないのではと思っていたさなか、新家族の募集を目にし、家族全員で迷わず迎え入れようとなりました。

のぞみちゃんは来てすぐ、迷わず自宅の中を歩き、父の座る椅子の前にチョココンと座ったのです。その姿はとても印象的でした。それから毎日がのぞみちゃん中心の生活となり、朝の挨拶から、寝る時間まで一緒に過ごし、感情豊かな彼女は私たちの生活に彩りを与えています。特に父と母には大きな影響を与えています。母がある時「うちの子になっちゃったね・・・」と愛おしそうに眺めてつぶやいている姿を見ました。また、父が転倒し要介護 4 の状態で入院をした時も、のぞみちゃんに会いたい一心でリハビリに取り組み、退院の日、見事に歩いて自宅に戻ることができました。今では、リハビリを兼ねての散歩をのぞみちゃんが見守り、監督をしながら歩いています。

大好きなのぞみちゃんを抱きしめる度「この子の犬生が幸せでありますように」、そして「全

感情豊かで私たちの生活に彩りを与えてくれています



のぞみちゃんの犬生が幸せでありますように

ての犬たちが幸せでありますように」と願わずにはいられません。こんな素敵なチャンスをごくださった日本聴導犬協会の皆様には感謝に尽きません。

補助犬が世に出るまでには想像以上の長い道のりがあり、多くの人の手や支援が必要となります。できるだけ多くの方に補助犬を取り巻く環境を知

っていただき、温かい支援が日本聴導犬協会へ届くことを切に願っています。

日本聴導犬協会スタッフの皆さんや多くのボランティアさんに愛情深く育てて頂き、この素晴らしいコ達と人生を歩めることに感謝を申し上げます。

★新・家族の主な条件

- ①家の中で一緒に生活してくださる方
- ②犬を一人きりにする時間が少ない方
- ③愛情をもって一生涯一緒に暮らせる方
- ④新家族通信への寄稿、継続的な報告をくださる方
- ⑤年に 1 回は、長野・東京・兵庫のいずれかのパークラスタにご参加くださる方
- ⑥医療費などの一部費用 (10 万円以上のご寄付) をご承諾くださる方
- ⑦65 歳以上の方は上記①～⑥の条件をクリアできる後見人 (ご家族) 等との契約など、要相談です。

★新家族のプロセス

- 第 1 次審査：申込書記入
↓
第 2 次審査：面接およびご家庭訪問
↓
第 3 次審査：ご家族と犬とのお見合い
↓
第 4 次審査：1 か月のマッチング期間
↓
最終審査：ご家族と犬の“しあわせ度”チェック



←新・家族申込書はこちらから！